

さいたま市長定例記者会見

令和5年11月24日（金曜日）

午後2時00分開会

○ 進 行        それでは、定刻になりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。

                  それでは、記者クラブ幹事社、日経新聞さん、進行をよろしくお願ひします。

○日本経済新聞    11月の幹事社を務めます日経新聞と申します。よろしくお願ひいたします。

                  それでは、本日の記者会見内容につきまして、市長から説明をお願いいたします。

○ 市 長        皆様、こんにちは。

                  朝夕の冷たい風が身に染みる季節になりました。

                  そんな冷たい風をものともせず、19日日曜日に行われたさいたまマラソンのイベント、「さいたまマラソン in 埼スタ」では、多くの皆様がペアランの部や4時間チームランの部に参加され、笑顔あふれる楽しい大会になりました。

                  御参加いただいた皆様に感謝を申し上げます。

                  来年2月12日には、いよいよ4年ぶりのフルマラソンである「さいたまマラソン」が行われます。

                  皆さんに、フルマラソンをゴールしたときでしか味わえない感動を味わっていただきたいと思います。そして、この感動を主催者の立場から皆様と共有したいという思いから、私もフルマラソンにチャレンジすることにしました。

                  まさに、この大会のキャッチコピー「走り出す、挑戦（チャレンジ）するあなたとともに」という思いです。

                  そのマラソンの部のエントリーですが、おかげさまで定員に達し、一昨日22日に締め切らせていただきましたが、大変ご好評をいただいておりますので、現在、追加募集を検討しており、詳細が決まり次第、大会公式ウェブサイト、SNSのほか、市の公式ホームページなどでお知らせする予

定です。

チャレンジしたい方は、ぜひ今後の情報を楽しみにしていただければと思います。

それでは、議題に入ります。

## 市長発表：議題1「さいたま市議会12月定例会提出議案について」

それでは、議題1「令和5年さいたま市議会12月定例会提出議案について」説明します。

令和5年さいたま市議会12月定例会を11月29日に開会します。

提案議案数は合計で78件です。内訳は、専決処分報告議案が1件、予算議案が7件、条例議案が18件、一般議案が45件、道路議案が2件、人事議案が5件です。

次に、補正予算議案を説明します。

補正予算議案は、一般会計で35億9,191万9,000円、特別会計で3億1,533万2,000円です。また、企業会計で5億7,182万6,000円です。合計で44億7,907万7,000円が今回の補正予算です。

続いて、補正予算の特徴について説明します。

まず1つ目、「子ども・子育てを支える都市の実現」について説明します。

まず、「放課後児童健全育成施設整備事業」として予算額2,441万7,000円を計上しています。

児童の健全育成と待機児童の解消を図るため、民設放課後児童クラブの新規整備に要する経費の一部を補助するものです。

民設放課後児童クラブの新規整備を行うことで、児童の健全育成と待機児童の解消を図れるものと期待しています。

続いて、「子育て支援医療費助成事業」について説明します。

「子育て支援医療費助成事業」として予算額13億3,788万7,000円、「福祉医療管理事務事業」として予算額3,039万6,000円を計上しています。

新型コロナウイルス感染症が2類から5類になって以降、子育て支援医

療費が大きく増加していて、助成事業の安定的かつ確実な制度運営を行うために、不足が見込まれている医療費助成予算額を増額するものです。

次に、「産後ケア事業」について説明します。

「母子保健健診事業」として予算額1,319万9,000円、育児支援を必要とする母子及びその家族に寄り添った支援体制を確保するため、不足が見込まれる予算を増額するものです。

続いて、2つ目、「スポーツ先進都市の創造」について説明します。「生涯スポーツ振興事業」として、予算額657万7,000円を計上しています。

スポーツ実施率の向上及び地域住民の交流の創出を図るため、市民の誰もがアーバンスポーツを楽しむことができる場所を2か所整備します。

具体的には、野田小学校のプール、新見沼大橋スポーツ広場の2か所を予定しています。

続いて、3つ目、「個性豊かで潤いのある都市空間の形成」について説明します。

「沼影市民プール代替候補地検討業務」として、2,695万円の債務負担行為を設定するものです。

沼影市民プールの廃止に伴い、代替となるレジャープールの新設に向け、候補地の検討に必要な調査などを実施するものです。

「さぎ山記念公園整備事業負担金」として、9,669万7,000円の債務負担行為を設定します。

令和8年度のさぎ山記念公園の供用開始に向け、公民連携による魅力ある新たな公園整備を行うものです。

続いて、4つ目、「デジタルインフラ整備の推進」について説明します。

「標準化システム工程管理支援業務」として、8,590万9,000円の債務負担行為を設定するものです。

計画的に基幹業務システムの標準化対応するために、事業者の支援を受けるものです。

次に、「その他」として、公共工事の施工時期の平準化のため、一般会計で「スマイルロード整備工事」ほか20事項、14億5,106万6,000円、また下水道事業会計で6億8,250万円の債務負担行為

を設定します。

また、令和6年度以降の指定管理者の指定のために、「ホテル南郷管理業務」ほか33事項、227億5,220万7,000円の債務負担行為を設定します。

次に、「主な条例議案」について説明します。

「さいたま市再生資源物の屋外保管に関する条例」を制定します。

まず初めに、制定理由として、屋外に保管された再生資源物の不適切な保管による火災、延焼その他の事故等を防止するとともに、当該保管に伴う騒音、また振動等の発生を防止し、または軽減するために新たに条例を制定するものです。

次に、主な内容としては、屋外保管事業場に係る設置の許可、事前協議、立地、構造及び保管に関する基準、立入検査、勧告、命令、公表、手数料、罰則等に関する規定を定めるものです。

施行期日は令和6年2月1日等です。

屋外に保管された再生資源物の不適切な保管を防止することで、市民生活の安全の確保及び生活環境の保全に寄与していきたいと考えています。

## 市長発表：議題2『「さいたま市健康マイレージ」が新しく生まれ変わります』

続いて、議題2「さいたま市健康マイレージが新しく生まれ変わります」について説明します。

本市では、平成28年度から歩くことを中心として、楽しみながら継続的な健康づくりの支援をしている「さいたま市健康マイレージ事業」を実施しています。

健康マイレージでは、スマートフォンアプリなどを利用して計測した歩数や各種健診の受診に応じてポイントが付与されます。この付与されたポイントは、景品の抽せん応募に利用できます。

これまで累計で約4万5,000名の方に御登録いただき、大変好評をいただいています。

このたび、このさいたま市健康マイレージが令和5年12月4日から新しく生まれ変わるため、お知らせします。

新しい健康マイレージでは、これまでよりさらに楽しみながら歩くことができる機能を充実させています。5つの新たな機能について説明します。

まず、1つ目、楽しく健康づくりに取り組むことができる様々なゲーム機能が追加されます。

実際の地図上のコースを指定されたチェックポイントを通過するように歩くウォークラリーや、記録した歩数を距離に換算することでゴールを目指す路線図ウォークなどがあります。

2つ目は、食事、運動、体重、睡眠、血圧、体温をアプリ内に記録できるようになり、御自身のカラダ情報がいつでもスマートフォンでチェックできるようになります。

そして、3つ目は、最先端AI技術により、入力された食事の記録などを基に、血圧や血糖値維持のためのプログラムや食事アドバイスなど、参加者一人ひとりに合った情報が提供されるようになります。

ぜひ健康な体づくりのため、AIのアドバイスを役立てていただきたいと思います。

そして、4つ目は、これまでの歩数や健診の受診に加え、日々の食事の記録やイベントの参加によってもポイントをためることができるようになります。貯めたポイントは、これまでの健康マイレージと同様に、来年度以降の景品抽せんの応募に利用することができるようになります。

また、景品はさいたま推奨土産品などを予定しています。

続いて、5つ目は、ヘルシーレシピや生活習慣病の情報など、幅広い世代に向けた健康づくりに役立つ多彩な記事を読めるようになります。記事を読むことでもポイントがたまるため、ぜひたくさんの方に読んでいただきたいと考えています。

次に、参加登録方法について説明します。対象は、18歳以上のさいたま市民で、参加費は無料です。

W o L Nというアプリを利用し、ダウンロードから3つのステップで登録できます。詳しくは、市ホームページで「健康マイレージ」と検索し、「さいたま市健康マイレージ」が新しく生まれ変わりますのページを御確認ください。

また、スマートフォンの操作に自信がないなど、対面での説明を希望す

る方向けに、参加登録説明会を開催します。日時、場所などについては、市ホームページを御覧ください。

新しい健康マイレージでお困りの場合は、専用のコールセンターを設けています。登録方法など不明点があれば、電話、メールのどちらでも問合せが出来ますので、ぜひ御活用ください。

なお、現行の健康マイレージは12月25日で終了します。併せて、活動量計を利用した参加は廃止となるので、御注意ください。

12月4日の利用開始に先行して、アプリのダウンロードと参加登録を行うことができます。一部の機能についても試行することが可能です。

このたび、健康マイレージがリニューアルして、これまでよりさらに市民の皆様の楽しみながら歩く健康づくりのサポート機能を充実させてまいります。

参加費は無料。誰でも簡単に利用できるため、多くの方に御参加いただきたいと考えています。

### **市長発表：議題3「さいたま市医療的ケア児保育支援センター、(愛称：すまいるスポットさいたま)の事業を開始します」**

続いて、議題3「さいたま市医療的ケア児保育支援センター、(愛称：すまいるスポットさいたま)の事業を開始します」について説明します。

初めに、医療的ケア児保育支援センターの開設について説明します。これまで、さいたま市では民間の保育施設を中心として、医療的ケア児の受入れを実施してきました。

今後、さらなる受入れ拡大や支援の充実を図るために、新たに医療的ケア児保育支援センターを開設します。

施設の愛称については、本施設が子どもたちとその家族の笑顔があふれる場所になるよう願いを込めて、「すまいるスポットさいたま」と名づけました。

次に、事業の概要について説明します。

まず、医療的ケア児とその家族等への支援として、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育て世帯の子育ての不安感等を緩和し、子どもの健や

かな育ちを促進することを目的としています。

事業の内容は、主に市内に在住する未就学児の医療的ケア児及びその家族が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合い、交流を図る場の提供、それから、育児不安等についての相談、医療的ケア児の一時預かり、子育てサークル等の育成、支援などを実施します。

市内保育施設等への支援は、本市の医療的ケア児保育の提供の充実を図ることを目的としています。事業の内容は、市内保育施設等に対し、医療的ケア児の受入れに係る支援や助言、研修等を実施します。

次に、施設の概要について説明します。本施設の所在地は、さいたま市中央区本町東7-4-19。運営法人は、公募による選定を行い、社会福祉法人なないろ会が運営を行います。

開設日は月曜日から金曜日の週5日。開設時間は9時から16時までです。

最後に、事業開始について説明します。令和5年11月27日月曜日から一部の事業を開始します。医療的ケア児とその家族が直接センターに来所して行う相談や電話、メールによる相談等が可能です。あわせて、施設のPRや今後の事業企画等を進めます。

また、施設の本格的な開設は令和6年1月中旬として、11月から開始する事業に加えて、子育てや医療的ケア児に関する講座、イベント等の実施、また関係機関等の連携を実施します。

すまいるスポットさいたまは、様々な相談の場、子どもを預けて家族がリフレッシュする場、コミュニティーの場、親子の憩いの場などほっと一息できる場所として新たに開設するものです。育児の不安や悩みを抱え込まずにお気軽に御利用ください。

私からの説明は以上です。

## 議題に関する質問

○日本経済新聞 市長からの説明について、各社さん質問があればマイクを使用して質問をお願いします。

○ 読売新聞 読売新聞と申します。

まず、今発表のあった医療的ケア児保育支援センターなんですけれども、現状でさいたま市内に医療的ケア児、どれぐらいの人数の方がいらっしゃる

るか教えてください。

- 市長 現在、医療的ケア児の人数は令和5年4月1日現在で38人です。そのうち18人を私立の保育所で受け入れていただいています。

なお、公立保育所の受入れ人数はゼロとなっていますが、今後の施設整備に合わせ、必要なスペースを確保した施設において体制を整えて実施していくことを検討しています。

- 読売新聞 こちらのケア児保育支援センターの開設のお話、先ほどありましたけれども、改めて整備に至った経緯もう少し詳しく伺えますでしょうか。

- 市長 医療的ケア児については、これまでも受入れについての市民からの御要望をたくさん受けてきました。

また、法律の整備などにより、私たちとしては医療的ケア児及びその家族をしっかりと支えていく観点から、進めてきました。これまで18名の医療的ケア児、私立の保育所の皆様に御協力をいただき支援をしてきましたが、それでもまだ、残念ながら保育所に入れないという方もいますので、そこ（医療的ケア児の受け入れ体制）を拡充することによって、市民の皆様、また医療的ケア児の子どもたちをしっかりと支えていくために、こういったセンターを整備することになったところです。

- 読売新聞 施設の概要についての確認ですけれども、これは既存の施設を活用したものになるのか、新しく整備したものなのか、その辺りを教えてください。

- 事務局 こちらは、公立の与野本町保育園が本年の6月で統合して移転していますので、その跡地を活用して設置したものです。

- 読売新聞 あと、こちらの活用なんですけれども、施設なんですけれども、定員とかがもしあれば教えてください。利用定員です。

- 事務局 入所施設ではないので、特に定員を設けているわけではなくて、相談にくる方は、基本的に皆さん受け入れるという施設になります。

- 埼玉新聞 埼玉新聞です。

今のセンターの話ですけれども、センターをなないろ会に決まったのはいつ頃かで、2事業者が応募したということなんですけれども、どういふふうにと選考されて決まったのか。

あと、一時預かりはいつから始めるのか教えてください。

- 事務局 事業者は、公募プロポーザルで2社応募がありました。実際決まった時



期は10月の上旬です。審査自体はプロポーザルなので、こちらの要求水準、もしくは着眼点に基づき、事業者の提案に基づいて審査、選定して、最優秀の方をお願いしています。

それから、もう一点何でしたっけ。

- 埼玉新聞 一時預かりの。
- 事務局 一時預かり自体は1月からの実施を予定しています。
- 埼玉新聞 あと、愛称、名前、すまいるスポットさいたまって、これはどなたが決めた。公募。
- 市長 まず、所管である子ども未来局で愛称の候補を選定して、その選定した候補を基に愛称を決定しました。
- 埼玉新聞 改めてですけれども、医療的ケア児支援センターに期待するところを市長のコメントをお願いします。
- 市長 さいたま市は、令和2年度に保育施設での医療的ケア児受入れに係る取組を開始して、現在7区10園において、18名の医療的ケア児の保育を行っています。本市の医療的ケアを必要とする未就学児の数は増加していて、医療的ケア児保育のニーズが高まっている状況の中で、まさに今必要とされる事業であると考えています。医療的ケア児とその家族に対しては、本施設の事業開始によって、一人でも多くの医療的ケア児とその家族の支援をより手厚く行っていきたいと考えています。そういった施設にしていきたいと考えています。
- 埼玉新聞 ちょっと11月1日時点の数字を聞いたんですけれども、ちょっと若干違っているんですけれども。
- 事務局 市長が申し上げた人数は4月時点の数字で、11月時点だと、現在8施設で20名の受入れを行っています。
- 読売新聞 先ほどあった一時預かりの実施のことについてなんですけれども、今想定している一時預かりの1日当たりの定員と、あとはどんな職員がケアをしてくれるのか、その職員の陣容も教えてください。
- 市長 一時預かりは、1日3名を予定しています。そちらに当たるのは看護師及び保育士です。
- 読売新聞 あと、施設全体の職員も教えていただけますか。何人体制でどういう人がやるのかというの。

- 事務局            基本的に施設全体の職員は6名程度で運営していく形になります。
- 読売新聞        例えば保育士とか看護師さんは、それぞれ内訳何人とか分かれば教えてください。
- 事務局            保育士と看護師が当たることになっていますが、正確な内訳が手元にな  
いので、後ほど回答します。
- 朝日新聞        朝日新聞です。  
  
議案の関連でちょっと伺いたいんですけども、先日特別職の報酬等審  
議会のほうから答申があって、期末手当と給料引上げというのが出たと思  
うんですが、それを踏まえて、今回議案で一度踏まえた形で議案として出  
して、またそれで、給料については厳しい社会情勢を踏まえて据え置くこ  
ういう形で、また新たに議案として出されていると思うんですが、私もこれ  
までいろんな自治体とか取材してきた感じでいうと、あまりないような気  
がして、その辺り厳しい社会情勢というのをどう捉えるかにもよると思う  
んですが、今企業の中でもいろいろ業績もよくなっているところもあり、  
その中でこの判断に至った市長としてのお受け止めなり、判断した  
基準というんですか、その辺り何かお考えあればお聞かせいただきたいと  
思います。
- 市 長            今回市長等の給料月額を据え置く特例条例案を提出するに至った経緯に  
ついては、まず前提として、11月1日付でさいたま市特別職報酬等審議  
会から、平成16年度以来19年ぶりとなる市議会議員の議員報酬月額及  
び市長等特別職の給料月額の引上げ改定の答申をいただきました。特別職  
報酬等審議会からの答申を最大限尊重して、その具体化に向けての検討を  
行った結果、12月定例会に議員報酬及び市長等の給料の引上げに関する  
条例改正案を提出するものです。その上で物価高騰が続き、また実質賃金  
が減少している現下の厳しい社会経済情勢の中で、市民や事業者の皆様が  
大変苦しい状況にあること、また他の政令指定都市においても、今年度の  
市長の給料月額を据置きとする方向で検討している市が多いことから、こ  
れらを総合的に検討した結果、市長等の給料月額については据置きと自ら  
判断したものです。
- 埼玉新聞        埼玉新聞です。  
  
ヤード条例の関係ですけども、様々、苦情の件数とかは後で教えてい

ただけるんでしょうか。

- 市長           それは後で。
- 埼玉新聞       もともと施行日は来年4月というふうに予定されていましたが、2月1日に繰り上げているというこの辺の理由を教えてください。
- 事務局         当初は、令和6年4月1日施行を検討していましたが、近隣の自治体でも同様な条例を制定する動きがあり、公布後、施行までの間に駆け込みでスクラップヤードを設置する事業者を防止する目的で条例公布から施行までの期間を短くし、前倒しでの施行という判断になりました。
- 埼玉新聞       市民の方から施行日を早くしてくれというふうに要請されていたと思うんですけども、その辺も判断材料になっているんでしょうか。
- 事務局         そういうお話も伺っていたので、そこも判断材料の一つとなったところですよ。
- 埼玉新聞       改めてほかの自治体とここは違うぞという規制の部分を教えてください。
- 事務局         ちょっと細かいお話しになってしまいますが、事業場の敷地に幅員4メートル以上の公道に設置していなければならないというのが1点です。  
それから、敷地境界と事業場の場所に囲いを設けるという規定がありますが、新規事業場に限っては、その囲いと敷地境界の間を2メートル以上空けなければいけないと。これは、崩落防止の観点からそのような規定を設けました。先ほどの1点目の幅員4メートル以上の公道に設置も新規事業場に限る規定です。  
それから、3点目として、事業場の敷地の境界の内側に囲いを設置して、その内側床面を不浸透の素材で覆うと。これは、汚水の流出防止を念頭に置いた規定、こちらも新規事業場ですが、こちらもさいたま市独自です。  
最後、4点目ですが、既存の事業場にも適用するものになりますが、苦情等に関する相談窓口を設置して、苦情や紛争が生じた際は解決に向けて対応する規定を新規及び既存事業場に対して設けたところです。
- 日本経済新聞   そのほかなければ、次に進みますが、よろしいでしょうか。

幹事社質問：映画「翔んで埼玉 ～琵琶湖より愛をこめて～」が11月23日に公開されました。

(1) 映画公開に当たり、市長の期待を教えてください。また、映画を御覧になる予定はありますか。

## (2) 映画とコラボレーションした市のPR企画があれば教えてください。

それでは、幹事社質問に移らせていただきます。映画「翔んで埼玉 ～琵琶湖より愛をこめて～」が11月23日に公開されました。1点目の質問ですが、映画公開に当たり、市長の期待を教えてください。また、映画を御覧になる予定はありますか。2点目は、映画とコラボレーションした市のPR企画があれば教えてください。よろしくお願いします。

○ 市 長           それでは、幹事社の質問に順次お答えします。

まず、1点目の映画公開に当たっての期待ですが、大ヒットを記録した映画「翔んで埼玉」の続編が昨日公開されたばかりで、公開前から大変大きな話題となっています。

前作のような埼玉旋風が日本中を駆け巡ることで、映画を見た多くの方々に埼玉県よさ、またさいたま市のよさを知っていただく機会になることを期待しています。

特に、本作ではさいたま市PRキャラクター、つなが竜ヌゥをはじめ、県内様々なご当地キャラが出演したり、さいたま市中央区在住という設定で市役所職員の役が登場したりと、より親近感を持って楽しめる作品と聞いています。私も1作目は見ましたので、ぜひ2作目、パートツーについても見に行きたいと思っていますし、どのような作品になっているのか非常に楽しみにしています。

続いて、2点目の映画とのコラボレーション企画についてですが、埼玉県が中心となって県全体の盛り上げを図る中で、本市もオール埼玉の一員として、映画の撮影協力や関連イベントへの参加を積極的に行ってきたところですが、映画とコラボレーションしたさいたま市ならではの企画としては、明日11月25日土曜日から令和6年2月18日日曜日まで、市内の観光スポットなどを巡る謎解きイベント「さいたま謎旅」のPRブース、また「平仮名さいたまからも愛をこめて」をさいたま新都心、たまアリタウン、けやきひろば1階にオープンします。

このブースでは、さいたま市と映画にちなんだ謎解き問題のチラシを配布する予定です。また、謎解きの解答をさいたま謎旅ウェブサイトに入力し、正解するとクリアになるというものです。クリアした先着500名に

オリジナルコラボキーホルダーをプレゼントします。さいたま新都心観光案内所で引換えができます。参加費は無料で、さいたま謎旅の楽しさを体験できる機会となっていますので、ぜひお越しいただきたいと思います。

また、映画に先駆けて、漫画文化を発信しているさいたま市立漫画会館で、「翔んで埼玉」の原作者である魔夜峰央先生の画業50周年記念・原画展を開催しています。作家独自の美意識あふれる世界観を感じられる原画や本邦初公開の愛用品などを多数展示しています。入館料無料で、今週の日曜日まで開催していますので、ぜひ足を運んでいただきたいと思います。

以上でございます。

- 日本経済新聞 追加で1点お尋ねなんですけれども、さいたま市として映画で何か協力したことがあれば教えてください。
- 事務局 事前に埼玉県と連動して、「翔んで埼玉」とコラボした「おいで埼玉！」というPRイベントに出展したほか、今回のテーマソングといたしますか、はなわさんが歌っていらっしゃるミュージックビデオにもほかの自治体と一緒に出演をして、協力しました。
- 日本経済新聞 ちょっと僕、公開日に見に行ったんですけれども、さいたま市の車両が映っているところとかもあたりとかして、そういう車両提供とかもされたんですかね。
- 事務局 制作側からさいたま市の市章も使わせていただきたいという申請をいただきまして、承認しています。
- 日本経済新聞 代表質問に関して質問がある方は、挙手にてよろしくお願いします。
- 埼玉新聞 埼玉新聞です。  
映画の中で浦和と大宮が対決しているというシーンがあるんですけれども、その辺はどう受け止めていらっしゃいますか。
- 市 長 たびたびメディア等ではそういった話題も出てくるところですが、さいたま市の場合、4市が合併してできたまちであり、それぞれの地域に愛着であるとか、誇りを持っていただくことはいいことだと思っています。ご案内のとおり大方はさいたま市が、この4つの市が合併して1つになって、今発展していることについては認識もしているし、さいたま市全体としてさらに発展していこうということについては十分御理解をいただいています。その中で映画とか、いろんな番組でもそう取り上げられますけども、

それぞれいい意味でのライバル心は持っているかもしれませんが、同じさいたま市ですから、一緒にそれぞれの都市の違いや個性を生かしながら発展していこうという考えの下に進んでいるので、そういう面白くやゆしている一つということで、あまり私としては気にしていません。

○日本経済新聞 では、次のそのほかの質問に移ります。よろしくお願いします。

### その他：ESCO 事業関係の債務負担行為について

○ 埼玉新聞 埼玉新聞です。

ESCO事業の債務負担行為の関係で、新たに24件という、合計で24件ですか、その受け止めをお願いいたします。

○ 市長 まず、ESCO事業による公衆街路灯LED化事業のほかにも不適正な事務処理があったことについて、改めて深くおわび申し上げます。

今回の全庁調査結果は、市全体として重く受け止めなければならないと認識しています。市職員一人ひとりが改めて予算執行と契約事務は密接に関わるものであることをしっかりと認識をして、制度、また法令にのっとり適正に事務執行を行い、組織全体としてコンプライアンスを確保していく必要があると考えています。市民の皆様からの信頼回復のため、強い決意を持って再発防止策に全力で取り組んでまいりたいと考えています。

### その他：原山市民プールの存続を求める署名について

○ 埼玉新聞 予算も関係するんですけれども、原山市民プールの関係で署名とか提出されていますけれども、その受け止めと、沼影のプールの予算も出ていますので、このままでいくと沼影の代替を検討されていくのかなというふうにも読めちゃうんですけれども、その辺の受け止めをお願いいたします。

○ 市長 まず、原山市民プールの方針決定の時期は、沼影市民プールの代替用地の確保や整備内容の検討結果を踏まえて方向性が決まっていくこととなりますので、現時点では未定です。

また、沼影市民プールの代替の整備時期は、現時点では場所も決まっていませんので、明確な時期についてはお答えできませんが、できるだけ早く整備ができるよう進めていきたいと考えています。今後具体的な施設の再整備の段階では、地元の皆様の御意見を伺いながら整備内容等について

検討していきたいと考えています。

- 埼玉新聞 署名が7, 000筆超えているということで、その辺の受け止めはいかがですか。
- 市長 今回要望書の提出があったことは承知しています。原山市民プールについては、先ほども言ったように現在まだその方向性については未定となっていますので、今後具体的な整備を進めていく中で決定していくものと考えています。また、その中で今後検討していくことになると思います。
- 埼玉新聞 存続してほしいという声が7, 000人以上いらっしゃるという、その受け止めをお願いします。
- 市長 市民の皆さんにとっては、プールは身近なレジャーの一つということで、大変重要なものであると認識しているところですが、今後の社会情勢あるいは市の状況なども踏まえながら、さいたま市には5つのレジャープールがありますが、その在り方についてこれまで検討してきたところです。パブリックコメントなどを行い、そして方針を決定していくこととなりますが、今後具体的にいつ何がどうなるのかというところについては、まだ具体的に決定しているものではありませんが、基本的にはその方向性を示しながら、またさらにいろいろな御意見も賜りながら検討していくことになると思います。
- 日本経済新聞 これにて記者からの質問は終了とさせていただきます。ありがとうございます。
- 進 行 それでは、以上をもちまして市長定例記者会見を終了いたします。  
次回の開催でございますが、12月20日水曜日、午後1時30分からを予定しております。  
本日はありがとうございました。

午後 2時44分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。